

「昭和の日」に昭和村を満喫

「昭和の日」を記念したイベントが4月29日、村内で開催されました。道の駅「あぐりーむ昭和」では同駅と昭和村主催によるイベントや催し物が、公民館多目的ホールではフォトコンテストの表彰式が開催され終日にぎわいました。



毎年恒例の餅つき

「昭和の日」記念イベントは村の名前と同じ祝日を祝い、村をPRしようと開催されており、今年で11年目。

生越太鼓の勇壮な響きで幕を上げ、村内3保育園の園児たちが元気でかわいらしい歌声を披露しました。

このほか、オールスターチアの子どもたちが元気な演技を披露。高崎チンドン倶楽部が会場内を練り歩いたほか、コリー湯浅さんのバルーンアートでは、バルーンで作り上げたこいのぼりに子ども達は大喜びでした。

また、今年も赤城高原農業観光協会による迫力ある餅つきが披露され、つきたての餅はいちご大福として来場者に振る舞われたほか、餅投げも行われ大盛況でした。

会場では、緑の募金に協力

いただいた方に堤村長、加藤議長からブルーベリーの苗がプレゼントされたほか、お手玉やあやとり、メンコにベーゴマなど昭和時代の遊びを体験するコーナーが設けられ、子供たちの笑顔があふれて大いに賑わいました。

公民館多目的ホールでは、第7回「やさい王国昭和村」フォトコンテストの表彰式を開催。応募総数44点の中から選ばれ、一般・ポスター・ジュニアの部門で入賞に輝いた受賞者にそれぞれ賞状と記念品が手渡されました。

表彰式終了後には、特別審査員で写真家の今井隆一さんによる講評が行われたほか、公民館には3部門の入賞作品70点が展示され、来場者の目を楽しませました。

道の駅
あぐりーむ昭和



勇壮な響きを奏でる生越太鼓



オールスターチアの演技



先生からお手玉を



今年も大盛況の餅投げ



緑の募金のお礼にブルーベリーの苗を



元気いっぱい唱歌う園児たち



特別審査員の今井隆一さんによる講評



最優秀賞(ジュニア)の金崎さん



展示された入賞作品に見入る出席者



フォトコンテスト表彰式の様子

公民館
多目的ホール



グランプリに選ばれた菊さん